



# H a A d a i

令和3年10月26日  
グアム日本人学校  
学校だより  
11月号  
校長 井手瑞樹

## 進路学習会（講話会）で中学部の生徒の皆さんに・・・



10月13日（水）、中学部の皆さんを対象に、進路についてお話をいたしました。  
進路について考えるということは、それぞれの生徒の皆さんが自分の人生について考えることです。

「どう生きるか」まさにこれがテーマです。今や人生100年といわれます。長いようで短いかもしれませんし、やはり長いかもしれません。人生を終わるときに、いい人生だったと感じることができればきっと幸せでしょうね。生徒たちに投げかけました。「世の中はあなたを中心に回っていると思いますか」と。中学生になるとまさかそう思っている生徒はいないと思いますが、小さい子どもであればあるほどそう思っているに違いありません。「当然それは間違いですよ。太陽が地球を中心に回っていないのと同様に、社会はあなたを中心に動いていません。それどころか、あなたはまだ社会人にもなり得ていないのです。あなたが将来、何かの職業についたとき、あるいは社会に何かの形で役に立つようになったときにはじめて、社会を動かす一つの歯車になることができるのです。人間は一人では生きられない。一人一人がお互いを思いやって、何かの役に立とうとするその気持ちが社会を守り育てている。偉大な人物となって社会に大きく貢献することは実に素晴らしいことです。でもあなたたちが何かの職業に就くこと自体、それは社会に貢献することにつながります。地味でもいい。地道な人生を一步一步歩んでほしい。その上で、海外に住む皆さんは、その特徴をいかして、広く世界に関われたらいいですね。日本の高校に進学を希望している人は、目の前の受験という壁を乗り越えなければなりません、それら一つ一つが人生の節目となって、あなたたちを強くし、力強い人生へとつながっていきます。ですから大きく人生を見て夢や希望を持ちながら、目の前の目標を達成するよう力を尽くしていくことが大事ですよ。」吉野源三郎さんの「君たちはどう生きるか」という著書を紹介しながら私が共感し、ぜひ子どもたちに伝えたいと思った事を強く話しました。

最後に、アメリカの哲学者であり心理学者でもあった、ウィリアム・ジェイムズ氏が残した言葉を紹介しました。「心が変われば態度が変わる → 態度が変われば行動が変わる → 行動が変われば習慣が変わる → 習慣が変われば人格が変わる → 人格が変われば運命が変わる → 運命が変われば人生が変わる」生徒の皆さんには、いい人生を送ってほしい。私の願いを伝えました。

## コロナ対策、今一度心を引き締めて！



コロナの足音が日に日に高まってくるような気がいたします。ご家庭でもきつと危機感を持って対応しておられることと思います。日本では幸いにも感染者数が激減している状況ですが、まだまだわかりません。いつ次の感染拡大の波が訪れるか、日本から離れたグアムで、戦々恐々と見守っているところです。

一方、グアムではワクチンの接種率が他国より高いにもかかわらず、こんなにも高い感染率を示しているのは、本当に不思議なところです。いくら用心しても、し過ぎることはないと思います。

日本人学校としても、より一層感染予防に注意を払って参りますが、陽性者や濃厚接触者の発生の可能性は高いといえます。発生した場合には学校の対応にどうかご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

※ 携帯電話でも、電話番号には頭に 671 をつけるようになりましたのでよろしく願いいたします。